【授業科目】医療英語　　Medical English Communication

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
冨永 尚	１年次 後期	必　修	２	３０	講　義			可

授業概要 （内容と進め方）及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／この授業では、医療関連の仕事に就く上で必要な医療関連用語や外国人患者の対応や国際的な医療現場で必要とされているVocabulary やPhraseを習得し、医療現場での英語コミュニケーション能力の向上を目標とする。医療従事者は今後国内外を問わず、PresentationやDiscussionの機会も増えており、音声面でも医療分野で利用される英語運用能力の強化を図る。医学論文を読む機会も増えるため、その理解ができるような練習も実施する。 課題に対するフィードバック方法／授業内で実施する確認テスト及びレポート課題を返却し、助言を与える。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間としての自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①医療関連の専門用語を英語で理解することができる。 ②医療関連の話題について自分の考えを英語で表現し、発表することができる。 ③特に臨床検査技師の仕事や話題に関して、英語で読んだり意見を発表したりすることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	各Unitの英文をQRコードから聞き、予習しておく。（60分）確認テストに向けて復習を行う。（60分）Presentation（発表）がある場合はその準備を行う。（90分）（学習方法、準備方法については授業内で指示する。） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　医療従事者の心得ておくべき基本（Basics for Health Care Professionals ） 第2回　解剖学的系統の英語The Digestive System: How It Works 第3回　The Cardiovascular System (The Heart, Pump for Life-giving Blood) 第4回　The Neurological System (Neuroscience) 第5回　The Urinary System　(Kidney Transplantation) 第6回　The Reproductive System (Infertility Treatments) 第7回　The Skeletal System (Bone Health) 第8回　Immune System (Allergies) 第9回　The Endocrine System (Diabetes) 第10回　医療に関する問題についてのPresentation & Debate / Preventing the Spread of Infectious Disease 第11回 Cancer Detection 第12回 Robotic Surgery 第13回 From Genetic Research to Personalized Medicines 第14回 Clinical Research 第15回 Health Care for the Aging (Geriatric Nursing) (まとめ)
	全て 冨永
評価方法 評価基準	成績は以下の配分により総合的に評価する。 Check Test / Attendance（小テスト・出席）：10% Presentation / Participation（授業内活動・提出物・発表）：30% Speaking Test（英語スピーキングテスト）：10% Final Exam（学期末試験）：50%
教科書	Understanding Health Care（医療の世界—基本情報と表現演習—）（朝日出版社）
参考書等	プリント配布等を通して適宜紹介する。
学生への 助言等	医療関係の英語を読んだり文献を調べたりする機会を通して、世界で起きている事象を理解し、視野を広げる機会として欲しい。